

戦略的プロジェクト研究推進事業  
「海外植物遺伝資源の民間等への提供促進」

研究概要図

中課題番号	18064822
中課題名	海外植物遺伝資源の民間等への提供促進
研究実施期間	平成30年度～平成34年度（5年間）
代表機関	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 （遺伝資源センター）
研究開発責任者	加藤 浩
研究開発責任者 連絡先	TEL : 029-838-7458
共同研究機関	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 （野菜花き研究部門、次世代作物センター、北海道農業研究センター） 国立研究開発法人国際農林水産業研究センター  国立大学法人弘前大学 国立大学法人山形大学 国立大学法人筑波大学 学校法人東京農業大学 国立大学法人信州大学 学校法人龍谷大学  国立大学法人岡山大学 学校法人南九州学園・南九州大学 新潟県農業総合研究所 （園芸研究センター） 茨城県農業総合センター 愛知県農業総合試験場 岡山県農林水産総合センター （農業研究所） 高知県農業技術センター 宮崎県総合農業試験場 鹿児島県農業開発総合センター ベトナム植物資源センター ベトナム作物研究所 ラオス国立農林業研究所 （イネ研究センター、園芸研究センター） カンボジア農業開発研究所 ミャンマー農牧灌漑省農業研究局
農林水産省内 本事業担当	農林水産技術会議事務局研究企画課 代表 : 03-3502-8111（内線5842）

# 海外植物遺伝資源の民間等への提供促進

- アジア地域の各国との二国間共同研究の推進を通じて、海外植物遺伝資源へのアクセス環境を整備する。
- 民間事業者等が植物遺伝資源情報に効率的にアクセスできる環境を整備する。

## 研究内容

### 海外での共同探索収集 ・ 特性評価

二国間共同研究を通じて、新たな遺伝資源の共同探索収集や、現地でそれら遺伝資源の特性評価を行う。

### 海外での共同育種

海外の品種を用いて、海外で育種素材の共同育成を行う。

### 国内での種子増殖 特性評価・遺伝解析等

我が国に導入した遺伝資源の種子増殖を行うと共に、耐病虫性等の特性を明らかにし、それら形質の遺伝解析を進める。

### データベース整備 情報ネットワークの構築

本事業の遺伝資源及びその特性評価情報を集約したデータベースを整備し、更に国内の植物遺伝資源データベースの連携を進めることにより、利用者の利便性を向上。

遺伝資源とその情報の提供を通じて、民間等の育種ビジネスを支援

## 連携体制

### 国内連携体制

野菜類（ウリ科、ナス科、アブラナ類等）やイネを対象作物の中心とすることが可能な、国内連携体制を構築。

### 海外連携体制

ベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマーとの間で、二国間共同研究契約を締結して取組を推進。今後、更に対象国の拡大を検討。

